

令和7年度 単価契約道路等図面作成作業仕様書

第1条 適用範囲

本仕様書は、志摩市が行う事業の執行にかかる図面及び数量計算書の作成作業等(以下、「作業」という。)に適用する。

第2条 目的

本作業は、事業を円滑かつ速やかに執行するために図面を作成し、工事数量をとりまとめること等を目的とする。

第3条 作業名及び発注予定数量等

作業名	規格	予定数量	単価比率	備考
現地測量	A－1	9	91%	
測量基準点等復元測量	－	1	64%	
現況調査	A－1	1	91%	
施工計画検討	－	1	99%	
工事関係資料作成	－	1	53%	
平面図	A－1	9	100%	
縦断面図	A－1	2	44%	
平面及び縦断面図	A－1	1	142%	
横断面図	A－1	4	19%	
標準断面図	A－1	9	54%	
一般構造物図	A－1	2	86%	
小構造物図	A－1	1	65%	
各種展開図	A－1	2	33%	
数量計算書	A－4	9	9%	
設計計算書	A－4	1	24%	
用地境界杭設置	－	1	53%	
面積計算	A－1	1	129%	
用地実測図	A－1	1	154%	
用地平面図	A－1	1	84%	
積算資料作成	－	0	429%	

第4条 監督員及び発注担当者

- 発注者の監督員は、成果品を完成させるために必要な受注者又は受注者の主任技術者及び管理技術者に対する指示、承諾、協議等の職務を行うものとする。
- 発注者の発注担当者は、監督員の了解を得たうえで、第1項に基づく職務を行うことができるものとする。

第5条 主任技術者

- 受注者の主任技術者は測量業務の履行に関し、業務の管理及び統轄を行うものとする。

- 2 主任技術者は、「特記仕様書」で定める資格保有者でなければならない。

第6条 管理技術者

- 1 受注者の管理技術者は設計業務の履行に関し、業務の管理及び統轄を行うものとする。
- 2 管理技術者は、「特記仕様書」で定める資格保有者でなければならない。なお、主任技術者と管理技術者は兼ねることができる。

第7条 照査技術者

- 1 受注者の照査技術者は、成果物の内容の技術上の照査を行うものとする。
- 2 照査技術者は、「特記仕様書」で定める資格保有者でなければならない。なお、照査技術者は第 5 条及び第 6 条に規定する主任技術者及び管理技術者を兼ねることはできない。

第8条 発注方法

市長が指定した職員が図面作成作業発注書により発注する。
なお、作業の詳細については、監督員又は発注担当者から作業着手時に指示する。

第9条 作業の範囲

- 1 本作業は、道路等の構築にかかわる詳細設計の完了している成果を用い、施工単位に分割、修正、とりまとめの他、軽微な調査、測量及び設計等を行うものであり、作業の程度は、別表に示すとおりとする。
- 2 本作業の範囲は、設計条件を一部変更して、安定計算・応力計算を行って断面の決定を行う程度の設計計算を含むものとし、高度な線形計画及び複雑な構造計算を要するもの等は対象としない。

第10条 作業価格

本作業の価格は、次式により算定した単価に、発注枚数を乗じて得た額とする。
ただし、②工種係数及び③車線係数については、平面図、平面及び縦断面図についてのみ対象とし、他の品名については同係数を1.0として算定する。
なお、公園、下水道関係は、難易度係数のみ考慮する。

$$1 \text{ 枚当り単価} = \text{契約単価} \times \text{難易度係数} \times \text{工種係数} \times \text{車線係数}$$

①難易度係数

難易度	1	2	3	4	5	6	7
係数	1.75	1.50	1.25	1.00	0.75	0.50	0.25

②工種係数

区分	改良	舗装	改良舗装	舗装修繕
係数	1.0	1.1	1.3	1.0

③車線係数

区分	車道のみ	歩道又は側道付き	歩道又は側道のみ
係数	1.0	1.1	0.9

- ④本作業価格には、現地状況を把握する費用を含む。

第11条 用語の定義

用語の定義は、別表に示すとおりとする。

第12条 作業場所

発注者は、受注者に作業場所を指定することがある。

第13条 成果品

- 1 受注者は、特記仕様書に電子納品の定めがある場合、又は監督員の指示、又は承認を受けた場合は、「三重県 CALS 電子納品運用マニュアル(案)」(以下「マニュアル」という)に基づき成果を電子記憶媒体にして提出するものとする。
「マニュアル」で特に記載が無い項目については、監督員と協議のうえ決定するものとする。
また、成果物を紙で提出する場合は、原則として両面コピーとする。
- 2 納入先は、発注担当課とする。

第14条 成果品の納入及び検査

- 1 受注者は、1発注作業完了後すみやかに図面作成作業完了届2部を発注者に提出し、各成果品の規格、内容及び数量等当該作業完了の確認に必要な発注者の検査を受けるものとし、受注者は、検査終了後、発注者に成果品を納入する。また、検査実施日、検査結果、検査員名を記入及び押印した図面作成作業完了届を発注者と受注者とは1部ずつ保管する。
- 2 受注者は、検査の結果、不合格がある場合は、発注者の指定する日時までに受注者の負担にて再製又は修正し、発注者の再検査を受けるものとする。
- 3 受注者は、1契約業務完了後すみやかに業務完了報告書1部を発注者に提出し、当該契約業務における発注件数及び出来高払いの有無等全ての作業の完了を確認するために必要な発注者の検査を受けるものとし、検査終了後、完成認定書を発注者と受注者とは1部ずつ保管する。なお、不合格の場合は、前項によるものとする。
- 4 受注者は、出来高払いを受けようとするときは、第1項による検査に合格し、引き渡しを完了した作業のうち、出来高払いを受けようとする任意の期間分の作業について、出来高報告書1部を発注者に提出し、発注件数等を確認するために必要な発注者の検査を受けるものとし、検査終了後、出来高認定書を発注者と受注者とは1部ずつ保管する。なお、不合格の場合は、第14条第2項によるものとする。
- 5 納入及び検査に要する費用は受注者の負担とする。

第15条 その他

- 1 受注者は、この契約期間内に納入した作業の合計数量が、第3条に定める予定数量に満たなくても、これを理由として契約単価の変更はできない。
- 2 本仕様書に明記していない事項又は疑義のあるときは、発注者と受注者とは協議して定めるものとする。

用語の定義

1 地形区分

地形は、平地、丘陵地、山地に区分されるものであるが、本作業においては、詳細設計の完了しているものの、分割、修正、とりまとめの他、新規に行う小規模な調査、測量及び設計等を前提とした作業であるので適用しない。

2 工種区分

改 良:下層路盤工までの工事

舗 装:路盤工から上層の工事(いくらかの改良工事を含む)

改良舗装:改良又は舗装が合わさった工事(工種の多いもの)

舗装修繕:舗装の打ち替え、切削、オーバーレイ工事

3 車線区分

車道のみ:車線数により難易度を考慮

歩道又は側道付き:車道に歩道又は側道が付くもの

歩道又は側道のみ:歩道又は側道単独のもの

4 難易度係数

4-1 設計関係

1)緊急的な修正作業

適用部分:

難易度	1	2	3	4	5	6	7
係数	1.75	1.50	1.25	1.00	0.75	0.50	0.25
設計条件の変更による図面の修正							
既設計図面から当該工事部分を抽出又は 工事完了部分を除外し、当該工事部分を抽出 (別葉とする場合)							
既設計図面に既施工部分を挿入し、当該 工事部分を抽出							
既設計図面を一部抹消、表示内容の修正							
既設計図面に設計条件等の変更に伴う補 足測量成果を記入							

難易度1:詳細設計済みであるが、設計条件(設計の指針とする基準等の改定、追加された地元要望の採択)の変更のため、設計図面に修正の必要が生じ、他種別の図面等への影響を照合しつつ修正するもので、その程度が特に大なもの。

難易度2:同上で、その程度が大なもの。

難易度3:同上で、その程度が中なもの。

:既設計図面から当該工事部分を抽出する。または、工事の完了部分を除外し、当該工事部分を抽出するもので、その程度が大なもの(新規図面とする場合)。

難易度4:詳細設計済みであるが、設計条件(設計の指針とする基準等の改定、追加された地元要望の採択)の変更のため、設計図面に修正の必要が生じ、他種別の図面等への影響を照合しつつ修正するものでその程度が小なもの。

:既設計図面から当該工事部分を抽出する。または、工事の完了部分を除外し、当該工事部分を抽出する

ものでその程度が中なもの(新規図面とする場合)

難易度5:既設計図面から当該工事部分を抽出する。または、工事の完了部分を除外し、当該工事部分を抽出するもので、その程度が小なもの(新規図面とする場合)。

:既設計図面に既施工部分を挿入し、当該工事部分を抽出するもので、その程度が大なもの。

難易度6:既設計図面に既施工部分を挿入し、当該工事部分を抽出するもので、その程度が小なもの。

:既設計図面の一部抹消、表示内容を修正するもので、その程度が大なもの。

難易度7:既設計図面の一部抹消、表示内容を修正するもので、その程度が小なもの。

2)軽微な作業

新規に行う小規模な作業は、難易度1を標準とし、作業の程度は次のとおりとする。

難易度1:技術的な判断が特に大なもの。

難易度2:同上で、その程度が大なもの。

難易度3:同上で、その程度が中なもの。

難易度4:同上で、その程度が小なもの。

4-2 測量関係

①現地測量

図面枚数2枚/現地測量日数1日を標準(=難易度4)とする。

②測量基準点等復元測量

測量基準点等復元測量は、難易度4を標準とする。

4-3 調査関係

1)緊急的な修正作業

①現況調査

図面枚数2枚/現地調査日数1日を標準(=難易度4)とする。

②施工計画検討

当該工事区間の仮設計画を含む施工計画等(施工順序及び施工機械等)の修正作業であり、難易度4を標準とする。

③工事関係資料作成

警察協議(交差点協議等)資料等の修正作業であり、難易度4を標準とする。

2)軽微な作業

①現況調査

図面枚数2枚/現地調査日数1日を標準(=難易度4)とする。

②施工計画検討

当該工事区間の仮設計画を含む施工計画等(施工順序及び施工機械等)の検討・立案作業であり、難易度1を標準とし、作業の程度は次のとおりとする。

難易度1:技術的な判断が特に大なもの。

難易度 2: 同上で、その程度が大なもの。

難易度 3: 同上で、その程度が中なもの。

難易度 4 : 同上で、その程度が小なもの。

③工事関係資料作成

警察協議(交差点協議等)資料等の作成作業であり、難易度1を標準とし、作業の程度は次のとおりとする。

難易度 1: 技術的な判断が特に大なもの。

難易度 2: 同上で、その程度が大なもの。

難易度 3: 同上で、その程度が中なもの。

難易度 4: 同上で、その程度が小なもの。

4-4 用地関係

1) 用地境界杭設置

用地境界杭設置は、難易度 4 を標準とする。

2) 面積計算、用地実測図、用地平面図

作業の範囲により難易度は次表を標準とする。

ただし、成果図面の規格は、原則 A-1 判とする。

○面積計算、用地実測図

難易度	1	2	3	4	5	6	7
作業範囲	A-1			A-2	A-3	A-4	
係数	1.75	1.50	1.25	1.00	0.75	0.50	0.25

○用地平面図

難易度	1	2	3	4	5	6	7
作業範囲	A-1			A-2 A-3	A-4		
係数	1.75	1.50	1.25	1.00	0.75	0.50	0.25

4-5 積算資料作成業務

積算資料作成業務は、難易度4を標準とする。

8-1対象工事の②及び③の場合は難易度5とする。

難易度	1	2	3	4	5	6	7
係数				1.00	0.75		

5 数量計算書

横断図: 土量計算書

小構造物図: 掘削、床堀、埋戻、コンクリート型枠、基礎礫、裏込、鉄筋等の計算書、豆図を併記する。

一般構造物図: 掘削、床堀、埋戻、コンクリート型枠、基礎礫、裏込、鉄筋、足場、支保工等の計算書、豆図を併記する。

各種展開図:舗装、法面等の計算書

積算根拠資料:交通誘導警備員算出シート、水替え日数算出シート、産廃処分費比較表、工事費積算のために必要な単価算出参考調書(単価の決定を行うものではない)などを作成する。

6 小構造物

力学計算を必要とせず、経験的に設計するもの。

擁壁:H=2.0m以下で、小規模な重力式擁壁又はブロック積等。

側溝(無筋):U型、L型側溝のプレキャスト又はこれと類似タイプの現場打ちで、補強鉄筋のないもの。

側溝(有筋):現場打ちのU型、L型側溝等で、補強鉄筋のあるもの。

管渠:基礎及び補強も含み、標準設計にあるもの。

街渠:L型カッター縁石等、プレキャストで、歩道分離帯等に使用するもの。

7 縮尺(参考)

図面種類	縮尺
一般平面図	1/1000
一般平面図又は交差点の平面図	1/500
一般平面図又は交差点構造物等の平面図	1/300
一般平面図又は交差点構造物等の平面図、測量巾の大きい横断面図、標準断面図、小構造物・一般構造物の一般図、断面図、舗装・法面等の展開図	1/200
一般平面図でも特殊物件に使用する標準的な横断面図及び標準断面図、舗装・法面等の展開図	1/100
断面の小さい横断面図及び標準断面図、構造物の一般図、詳細図、舗装・法面等の展開図	1/50
構造物の詳細図、配筋図、断面図等	1/10～30
管渠・側溝等の縦断面図(小構造物)、舗装・法面等の展開図	1/200
一般縦断面図、舗装・法面等の展開図	H:1/500 V:1/200
管渠・側溝等の縦断面図(小構造物)、舗装・法面等の展開図、側溝・擁壁等の展開図	H:1/200 V:1/50
一般縦断面図、管渠・側溝等の断面図	H:1/1000 V:1/100
管渠・側溝等の縦断面図、側溝・擁壁等の展開図	1/100
用地実測図	1/250
用地平面図	1/500

8 積算資料作成業務

8-1 対象工事

土木工事に係る工事の発注に伴う工事積算業務を行う業務で、以下の工事に適用する。

- ①比較的単純な法面工、災害防除工事等の工事。概ね7工種以下の工事とする。※工種とは、新土木工事積算体系の工事工種体系における工種(レベル2)とする。
- ②張コン、張ブロックなど、簡易な工事
- ③概算発注工事(当初設計で平面図、標準横断面図等を明示し、概算の数量を算出して発注する方式)

8-2 作業内容

積算資料作成業務は積算基準(三重県県土整備部)に基づき、積算資料を作成するものとする。作業内容は以下のとおりとする。

(1) 計画準備

業務の内容及び条件確認、資料借用、協会歩掛等の入手及び工程計画を行う。また、必要に応じて現場把握を行う。

業務に用いる現場条件等について、監督員の了解を得るものとする。

(2) 積算内容確認

1) 詳細設計成果品の内容把握

図面、数量計算等詳細設計報告書の内容を把握する。積算業務遂行中に詳細設計成果の不具合を見つけた場合は、監督員と協議する。また、軽微な不具合については、協議の上、修正を行う。

2) 工種、歩掛

積算に必要な工種歩掛等の把握を行う。

(3) 積算資料作成

単価調書作成: 県設計単価、物価資料、徴収した見積等により単価算出調書を作成する。

積算根拠資料作成: 各種入力条件及び、適用歩掛、運搬費、賃料、安全費等の積算根拠資料を作成する。

発注図面の作成(修正)及び数量計算書のとりまとめ: 完成された設計成果品等の貸与資料を基に、発注工区毎の軽微な加工を行い、設計図面及び数量計算書を作成(修正)する。発注工区毎の数量分割、軽微な構造図、展開図等の追加については、監督員と協議の上行う。

発注者から貸与される工事の施工のための工程計画及び仮設計画、追加特記(現場説明時の参考資料を含む)の各案の確認・修正を行う。修正は監督員の指示による。

(4) データ入力

とりまとめた設計図面、数量計算書及び積算根拠資料に基づき、「三重県公共工事設計積算システム」に入力を行い、その結果を記録媒体で提出する。なお、「三重県公共工事設計積算システム」の使用については、発注者より指示する。

データリストは出力し確認チェックを行う。

8-3 貸与資料及び成果品

(1) 貸与資料

発注者からの貸与資料は主に以下の資料とする。

1. 類似工事の設計書(設計積算システムの出力資料や数量計算書、図面等)
2. 工事に関する図面、数量計算等の設計成果等
3. 積算基準(三重県県土整備部)、設計単価表等の基準類
4. その他発注者が必要と認めるもの

ただし、「1.類似工事の設計書」は他指示で貸与している場合や、積算の内容を受注者が理解している場合など必要でないと発注者が判断できる場合は省略することができる。

なお、貸与資料は業務の完了後速やかに発注者に返却するものとする。

(2) 成果品

積算資料作成業務委託の成果物は以下のとおりとする。

1. 工事発注図面及び数量総括表(数量計算書)1式
2. 積算資料1式
3. 積算データ(記録媒体 CD等)
4. 打合せ記録簿等発注者が必要と認めるもの

なお、発注者は成果物の引渡し前であっても、成果物の全部または一部の使用を受注者の承諾を得て使用することができるものとする。

令和7年度 単価契約河川等図面作成作業仕様書

第1条 適用範囲

本仕様書は、志摩市が行う事業の執行にかかる図面及び数量計算書の作成作業等(以下、「作業」という。)に適用する。

第2条 目的

本作業は、事業を円滑かつ速やかに執行するために図面を作成し、工事数量をとりまとめること等を目的とする。

第3条 作業名及び発注予定数量等

作業名	規格	予定数量	単価比率	備考
現地測量	A－1	1	91%	
測量基準点等復元測量	－	1	64%	
現況調査	A－1	1	91%	
施工計画検討	－	1	111%	
工事関係資料作成	－	1	54%	
平面図	A－1	1	111%	
縦断面図	A－1	1	49%	
横断面図	A－1	1	18%	
標準断面図	A－1	1	19%	
一般構造物図	A－1	1	82%	
小構造物図	A－1	1	43%	
数量計算書	A－4	1	8%	
設計計算書	A－4	1	21%	
用地境界杭設置	－	1	53%	
面積計算	A－1	1	129%	
用地実測図	A－1	1	154%	
用地平面図	A－1	1	84%	
積算資料作成	－	0	429%	

第4条 監督員及び発注担当者

- 発注者の監督員は、成果品を完成させるために必要な受注者又は受注者の主任技術者及び管理技術者に対する指示、承諾、協議等の職務を行うものとする。
- 発注者の発注担当者は、監督員の了解を得たうえで、第1項に基づく職務を行うことができるものとする。

第5条 主任技術者

- 受注者の主任技術者は測量業務の履行に関し、業務の管理及び統轄を行うものとする。
- 主任技術者は、「特記仕様書」で定める資格保有者でなければならない。

第6条 管理技術者

- 1 受注者の管理技術者は設計業務の履行に関し、業務の管理及び統轄を行うものとする。
- 2 管理技術者は、「特記仕様書」で定める資格保有者でなければならない。なお、主任技術者と管理技術者は兼ねることができる。

第7条 照査技術者

- 1 受注者の照査技術者は、成果物の内容の技術上の照査を行うものとする。
- 2 照査技術者は、「特記仕様書」で定める資格保有者でなければならない。なお、照査技術者は第5条及び第6条に規定する主任技術者及び管理技術者を兼ねることはできない。

第8条 発注方法

市長が指定した職員が図面作成作業発注書により発注する。
 なお、作業の詳細については、監督員又は発注担当者から作業着手時に指示する。

第9条 作業の範囲

- 1 本作業は、河川改修等にかかわる詳細設計の完了しているものを用い、施工単位に分割、修正、とりまとめの他、軽微な調査、測量及び設計等を行うものであり、作業の程度は、別表に示すとおりとする。
- 2 本作業の範囲は、設計条件を一部変更して、安定計算・応力計算を行って断面の決定を行う程度の設計計算を含むものとし、高度な線形計画及び複雑な構造計算を要するもの等は対象としない。

第10条 作業価格

本作業の価格は、次式により算定した単価に、発注枚数を乗じて得た額とする。

ただし、②工種係数については、平面図、縦断面図、横断面図についてのみ対象とし、他の品名については同係数を1.0として算定する。

なお、砂防、港湾・海岸関係は、難易度係数のみ考慮する。

$$1 \text{ 枚当り単価} = \text{契約単価} \times \text{難易度係数} \times \text{工種係数}$$

①難易度係数

難易度	1	2	3	4	5	6	7
係数	1.75	1.50	1.25	1.00	0.75	0.50	0.25

②工種係数

適用区分	築堤護岸詳細		築堤詳細		護岸詳細(片岸)		
	片岸	片岸坂路有	片岸	片岸坂路有	根固有	根固のみ	根固なし
平面図	1.0	1.2	0.7	0.8	0.4	0.2	0.2
縦断面図	1.0	1.2	0.7	0.8	0.4	0.2	0.2
横断面図	1.0	1.2	0.7	0.8	0.4	0.2	0.2

③本作業価格には、現地状況を把握する費用を含む。

第11条 用語の定義

用語の定義は、別表に示すとおりとする。

第12条 作業場所

発注者は、受注者に作業場所を指定することがある。

第13条 成果品

- 1 受注者は、特記仕様書に電子納品の定めがある場合、又は監督員の指示、又は承認を受けた場合は、「三重県 CALS 電子納品運用マニュアル(案)」(以下「マニュアル」という)に基づき成果を電子記憶媒体にして提出するものとする。
「マニュアル」で特に記載が無い項目については、監督員と協議のうえ決定するものとする。
また、成果物を紙で提出する場合は、原則として両面コピーとする。
- 2 納入先は、発注担当課とする。

第14条 成果品の納入及び検査

- 1 受注者は、1発注作業完了後すみやかに図面作成作業完了届2部を発注者に提出し、各成果品の規格、内容及び数量等当該作業完了の確認に必要な発注者の検査を受けるものとし、受注者は、検査終了後、発注者に成果品を納入する。また、検査実施日、検査結果、検査員名を記入及び押印した図面作成作業完了届を発注者と受注者とは1部ずつ保管する。
- 2 受注者は、検査の結果、不合格がある場合は、発注者の指定する日時までに受注者の負担にて再製又は修正し、発注者の再検査を受けるものとする。
- 3 受注者は、1契約業務完了後すみやかに業務完了報告書1部を発注者に提出し、当該契約業務における発注件数及び出来高払いの有無等全ての作業の完了を確認するために必要な発注者の検査を受けるものとし、検査終了後、完成認定書を発注者と受注者とは1部ずつ保管する。なお、不合格の場合は、前項によるものとする。
- 4 受注者は、出来高払いを受けようとするときは、第1項による検査に合格し、引き渡しを完了した作業のうち、出来高払いを受けようとする任意の期間分の作業について、出来高報告書1部を発注者に提出し、発注件数等を確認するために必要な発注者の検査を受けるものとし、検査終了後、出来高認定書を発注者と受注者とは1部ずつ保管する。なお、不合格の場合は、第14条第2項によるものとする。
- 5 納入及び検査に要する費用は受注者の負担とする。

第15条 その他

- 1 受注者は、この契約期間内に納入した作業の合計数量が、第3条に定める予定数量に満たなくても、これを理由として契約単価の変更はできない。
- 2 本仕様書に明記していない事項又は疑義のあるときは、発注者と受注者とは協議して定めるものとする。

用語の定義

1 地形区分

地形は、平地、丘陵地、山地に区分されるものであるが、本作業においては、詳細設計の完了しているものの、分割、修正、とりまとめの他、新規に行う小規模な調査、測量及び設計等を前提とした作業であるので適用しない。

2 工種区分

築 堤:築堤全般工事

護 岸:低水護岸で根固工を含む工事。ただし高水護岸は根固工を使用する。

築堤護岸:築堤及び護岸を含む設計

3 難易度係数

3-1 設計関係

1) 緊急的な修正作業

適用部分:

難易度	1	2	3	4	5	6	7
係数	1.75	1.50	1.25	1.00	0.75	0.50	0.25
設計条件の変更による図面の修正							
既設計図面から当該工事部分を抽出又は 工事完了部分を除外し、当該工事部分を抽出 (別葉とする場合)							
既設計図面に既施工部分を挿入し、当該 工事部分を抽出							
既設計図面を一部抹消、表示内容の修正							
既設計図面に設計条件等の変更に伴う補 足測量成果を記入							

難易度1:詳細設計済みであるが、設計条件(設計の指針とする基準等の改定、追加された地元要望の採択)の変更のため、設計図面に修正の必要が生じ、他種別の図面等への影響を照合しつつ修正するもので、その程度が特に大なもの。

難易度2:同上で、その程度が大なもの。

難易度3:同上で、その程度が中なもの。

:既設計図面から当該工事部分を抽出する。または、工事の完了部分を除外し、当該工事部分を抽出するもので、その程度が大なもの(新規図面とする場合)。

難易度4:詳細設計済みであるが、設計条件(設計の指針とする基準等の改定、追加された地元要望の採択)の変更のため、設計図面に修正の必要が生じ、他種別の図面等への影響を照合しつつ修正するものでその程度が小なもの。

:既設計図面から当該工事部分を抽出する。または、工事の完了部分を除外し、当該工事部分を抽出するものでその程度が中なもの(新規図面とする場合)

難易度5:既設計図面から当該工事部分を抽出する。または、工事の完了部分を除外し、当該工事部分を抽出するもので、その程度が小なもの(新規図面とする場合)。

:既設計図面に既施工部分を挿入し、当該工事部分を抽出するもので、その程度が大なもの。

難易度6:既設計図面に既施工部分を挿入し、当該工事部分を抽出するもので、その程度が小さなもの。
:既設計図面の一部抹消、表示内容を修正するもので、その程度が大なもの。

難易度7:既設計図面の一部抹消、表示内容を修正するもので、その程度が小さなもの。

2)軽微な作業

新規に行う小規模な作業は、難易度1を標準とし、作業の程度は次のとおりとする。

難易度1:技術的な判断が特に大なもの。

難易度2:同上で、その程度が大なもの。

難易度3:同上で、その程度が中なもの。

難易度4:同上で、その程度が小さなもの。

3-2 測量関係

①現地測量

図面枚数2枚/現地測量日数1日を標準(=難易度4)とする。

②測量基準点等復元測量

測量基準点等復元測量は、難易度4を標準とする。

3-3 調査関係

1)緊急的な修正作業

①現況調査

図面枚数2枚/現地調査日数1日を標準(=難易度4)とする。

②施工計画検討

当該工事区間の仮設計画を含む施工計画等(施工順序及び施工機械等)の修正作業であり、難易度4を標準とする。

③工事関係資料作成

警察協議(交差点協議等)資料等の修正作業であり、難易度4を標準とする。

2)軽微な作業

①現況調査

図面枚数2枚/現地調査日数1日を標準(=難易度4)とする。

②施工計画検討

当該工事区間の仮設計画を含む施工計画等(施工順序及び施工機械等)の検討・立案作業であり、難易度1を標準とし、作業の程度は次のとおりとする。

難易度1:技術的な判断が特に大なもの。

難易度2:同上で、その程度が大なもの。

難易度3:同上で、その程度が中なもの。

難易度4:同上で、その程度が小さなもの。

③工事関係資料作成

警察協議(交差点協議等)資料等の作成作業であり、難易度1を標準とし、作業の程度は次のとおりとする。

難易度 1: 技術的な判断が特に大なもの。

難易度 2: 同上で、その程度が大なもの。

難易度 3: 同上で、その程度が中なもの。

難易度 4: 同上で、その程度が小なもの。

3-4 用地関係

1) 用地境界杭設置

用地境界杭設置は、難易度 4 を標準とする。

2) 面積計算、用地実測図、用地平面図

作業の範囲により難易度は次表を標準とする。

ただし、成果図面の規格は、原則A-1判とする。

○面積計算、用地実測図

難易度	1	2	3	4	5	6	7
作業範囲	A-1			A-2	A-3	A-4	
係数	1.75	1.50	1.25	1.00	0.75	0.50	0.25

○用地平面図

難易度	1	2	3	4	5	6	7
作業範囲	A-1			A-2 A-3	A-4		
係数	1.75	1.50	1.25	1.00	0.75	0.50	0.25

3-5 積算資料作成業務

積算資料作成業務は、難易度4を標準とする。

7-1対象工事の②及び③の場合は難易度5とする。

難易度	1	2	3	4	5	6	7
係数				1.00	0.75		

4 数量計算書

横断面図: 土量、芝付、護岸、瀬替、水替の計算書

小構造物図: 掘削、床堀、埋戻、コンクリート型枠、基礎礫、裏込、鉄筋等の計算書、豆図を併記する。

一般構造物図: 掘削、床堀、埋戻、コンクリート型枠、基礎礫、裏込、鉄筋、足場、支保工等の計算書、豆図を併記する。

積算根拠資料: 交通誘導警備員算出シート、水替え日数算出シート、産廃処分費比較表、工事費積算のために必要な単価算出参考調書(単価の決定を行うものではない)などを作成する。

5 小構造物

応力計算をせず、従来の経験から設計できるもので、下記のものをいう。

石積又はブロック積擁壁、コンクリート擁壁(H=2.0m未満)、管渠、側溝、法面保護工、小型用排水路、集水桝、

防護柵工、取付道路(延長10m未満)、階段工、護岸等の法覆工、堤脚保護工、根固工、水制工。

6 縮尺(参考)

図面種類	縮尺
一般平面図	1/500～1/1000
縦断面図	H:1/200～1/1000 V:1/50～1/100
横断面図	1/50～1/100
本体工構造詳細図	1/20～1/100
基礎工詳細図	1/20～1/200
付帯工詳細図	1/20～1/100
配筋図	1/50～1/100
土工図	1/100～1/200
仮設構造物詳細図	1/100～1/200
用地実測図	1/250
面積計算等	1/500

7 積算資料作成業務

7-1 対象工事

土木工事に係る工事の発注に伴う工事積算業務を行う業務で、以下の工事に適用する。

- ①比較的単純な法面工の工事。概ね7工種以下の工事とする。※工種とは、新土木工事積算体系の工事工種体系における工種(レベル2)とする。
- ②堆積土砂撤去工事、堤防強化(張コン、張ブロック)など、簡易な工事
- ③概算発注工事(当初設計で平面図、標準横断面図等を明示し、概算の数量を算出して発注する方式)

7-2 作業内容

積算資料作成業務は積算基準(三重県県土整備部)に基づき、積算資料を作成するものとする。作業内容は以下のとおりとする。

(1) 計画準備

業務の内容及び条件確認、資料借用、協会歩掛等の入手及び工程計画を行う。また、必要に応じて現場把握を行う。

業務に用いる現場条件等について、監督員の了解を得るものとする。

(2) 積算内容確認

1) 詳細設計成果品の内容把握

図面、数量計算等詳細設計報告書の内容を把握する。積算業務遂行中に詳細設計成果の不具合を見つけた場合は、監督員と協議する。また、軽微な不具合については、協議の上、修正を行う。

2) 工種、歩掛

積算に必要な工種歩掛等の把握を行う。

(3) 積算資料作成

単価調査作成: 県設計単価、物価資料、徴収した見積等により単価算出調書を作成する。

積算根拠資料作成: 各種入力条件及び、適用歩掛、運搬費、賃料、安全費等の積算根拠資料を作成する。

発注図面の作成(修正)及び数量計算書のとりまとめ: 完成された設計成果品等の貸与資料を基に、発注工区毎の軽微な加工を行い、設計図面及び数量計算書を作成(修正)する。発注工区毎の数量分割、軽微な構造図、展開図等の追加については、監督員と協議の上行う。

発注者から貸与される工事の施工のための工程計画及び仮設計画、追加特記(現場説明時の参考資料を含む)の各案の確認・修正を行う。修正は監督員の指示による。

(4) データ入力

とりまとめた設計図面、数量計算書及び積算根拠資料に基づき、「三重県公共工事設計積算システム」に入力を行い、その結果を記録媒体で提出する。なお、「三重県公共工事設計積算システム」の使用については、発注者より指示する。

データリストは出力し確認チェックを行う。

7-3 貸与資料及び成果品

(1) 貸与資料

発注者からの貸与資料は主に以下の資料とする。

1. 類似工事の設計書(設計積算システムの出力資料や数量計算書、図面等)
2. 工事に関する図面、数量計算等の設計成果等
3. 積算基準(三重県県土整備部)、設計単価表等の基準類
4. その他発注者が必要と認めるもの

ただし、「1.類似工事の設計書」は他指示で貸与している場合や、積算の内容を受注者が理解している場合など必要でないとは発注者が判断できる場合は省略することができる。

なお、貸与資料は業務の完了後速やかに発注者に返却するものとする。

(2) 成果品

積算資料作成業務委託の成果物は以下のとおりとする。

1. 工事発注図面及び数量総括表(数量計算書)1式
2. 積算資料1式
3. 積算データ(記録媒体 CD等)
4. 打合せ記録簿等発注者が必要と認めるもの

なお、発注者は成果物の引渡し前であっても、成果物の全部または一部の使用を受注者の承諾を得て使用する事ができるものとする。